

令和4年度 地歴公民科「政治・経済」シラバス

単位数	3 単 位	学科・学年・学級	普通科 第3学年A～D組
教科書	政経 309 高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社)	副教材等	「最新政治経済資料集 新版2022」 (第一学習社)

1 学習の到達目標等

<p>(1) 民主主義について理論的・体系的に理解する。 (2) 現代の政治、経済、国際関係について客観的に理解する。</p>
--

2 学習計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質 ④日本国憲法基本原理 ⑤基本的人権の保障と新しい人権 第1回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の本質を理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解する。 ・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理についても理解する。 ・新しい人権を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の本質を理解するとともに、政治と私たちとの係わりについて理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解させながら、現代の政治の特質について考察する。 ・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理についても理解する。 ・日本国憲法の全体像にふれ平和や人権などの問題を考え、日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。 	「倫理」「日本史」「世界史」の学習と密接に関連する。 行動観察 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
5				
6	⑥国会の組織と機能 ⑦内閣の機構と機能 ⑧裁判所の機能と人権保障 ⑨地方自治制度と住民の権利 ⑩政党政治と選挙 ⑪世論と現代政治の課題 第2回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方や二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など、国会に関する基本的事項について把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会・内閣・裁判所などの政治機構にふれながら、主権者として政治に対する関心を高め、それぞれの役割を理解する。 ・望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。 ・選挙制度について理解し、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを考察する。 ・マス＝メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて考察する。 	行動観察 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
7				
	第2章 現代の国際政治と日本 ①国際政治の動向 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と国際協力 ④安全保障と日本の防衛	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成立過程を把握する。 ・グローバル化の進展、国際連盟と国際連合の違いを理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の動向について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治と国内政治の違いを理解する。また、先進国と発展途上国などのように、国家間に格差が生じていることを考察する。 ・国際平和と人類の福祉に向けて日本が果たすべき役割について広い視野から考察する。 	小テスト 定期考査

8	第2編 現代の経済				
9	第1章 現代経済のしくみと特質	経済活動の発展	資本主義と社会主義について	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義の特徴を、社会主義経済の特徴と比較して理解する。 経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考察する。 	
10	①資本主義経済の発展と社会主義経済の変容 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動 第3回定期考査 ⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき	経済の三主体	アダム・スミスとフリードマンの考え方	<ul style="list-style-type: none"> 市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 経済活動の目的が国民の福祉の向上にあり、その実現のためには経済成長と景気の安定が必要であることを理解する。 	行動観察 授業態度 発問評価 提出課題
11	⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み ⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題	戦後に始まる経済復興から今日までの流れ。	日本の抱えるさまざまな問題	<ul style="list-style-type: none"> 財政の基本的な仕組みや役割について理解する。 日本の財政の状況を理解させ、経済活動のあり方と福祉の向上について考察する。 インフレ、デフレなどの基本的な用語を正しく理解させる。 金融機関をはじめ、日本経済が抱えている問題について認識する。 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解し、国際経済における日本が果たす役割について考察する。 国際収支の基本的な構成を理解させ、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について考察する。 国際協調のために、どのような国際機関が存在するか理解する。 	小テスト 定期考査
12	⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 第4回定期考査 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題	進歩の陰に問題もあり、光と影を浮き彫りにする。	省資源国家日本について。	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本が抱えている課題を、政治と経済との関連に留意しながらさまざまな角度（視点）から考察する。 国際社会における課題は複雑なものであり、そのため、国際的な視点から追求させながら日本の役割について考察する。 	行動観察 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 民主主義について理論的かつ体系的に理解し、現代の政治、経済国際関係などについて客観的な理解を身につけている。 現代の社会と人間に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、効果的に活用している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 政治・経済の知識をもとに、人類の課題を多面的・多角的に考察し、社会の変化や多様な考え方を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 政治・経済に関心と問題意識を持っている。また、学習活動で得た知識と能力を問題解決に生かそうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現及び主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価基準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・興味と好奇心を持ち学習に臨むこと。最新の統計や資料に積極的に触れることで自ら疑問を持ち解決していこう。
- ・授業の前にあらかじめ教科書を読み、重要事項・語句などの意味を調べておこう。自分なりに工夫してオリジナルノートをつくる。